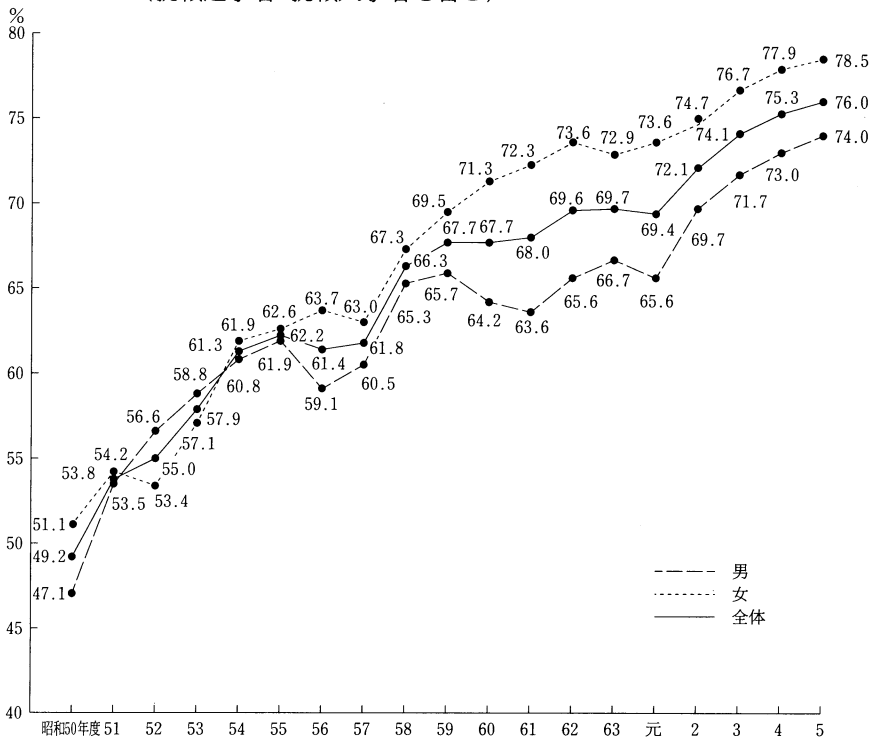


図2 就職者の県内留保率の推移 (公立全日制)
(就職進学者・就職入学者を含む)



(6) 大学入試センター試験の志願者
平成六年度大学入試センター試験
の志願者数は、男子二千七百六十八
人(前年度二千七百七十人)、女子

千五百二十人(同千五百五十八人)
計四千二百八十八人(同四千三百二
十八人)で、四十人減少した。(県立
高等学校長協会調べ)

三 就職状況について

(1) 全般的な状況(表1、図1)②、
図2参照)

就職者数は、(就職進学者・就職入
学者を除く)は、男子五千三百二十
二人(四十四・三パーセント)、女子
四千三百三十人(三十七・〇パーセン
ト)、計九千四百五十二人(四十四・八
パーセント)である。就職者の割合
は、前年度に比して男子は二・〇ポ
イント、女子は三・八ポイントと、
ともに減少し、全体では二・八ポイ
ントの減少となった。

学科別の就職者の割合をみると、
農業科・水産科の女子を除いて前年
度に比して減少した。

また、職業学科全体の就職率は六
十八・五パーセントと六十年以降最
低となった。

就職者の実数では、普通科の三千
六百三十七人が最も多く、就職者全
体の三十八・五パーセントを占めて
いる。

なお、就職進学者・就職入学者の
計三百七十七人(前年度三百三十八人)
を含めた就職者の割合は、四十二・
一パーセント(前年度四十五・〇パ
ーセント)となった。

(2) 産業別就職状況(就職進学者・
就職入学者を含む)(表7参照)
製造業三千六百四十七人(三十三

七・四パーセント)、卸売・小売業、
飲食店千八百五十九人(同十九・〇
パーセント)、サービス業二千三百三十
二人(同二十一・八パーセント)が
例年どおり上位を占め、この三業種
で全体の七十八・三パーセントを占
めている。前年度より一・三ポイン
ト減少している。

ここ数年間の傾向をみると、就職
者全体に対する農業、漁業などの一
次産業への就職者の就職者全体に対
する割合は、五十九年度以降一パ
ーセントを下回っている。五年度は五
十人(〇・五パーセント)と前年度
と同様であった。

(3) 都道府県別就職状況(就職進学
者・就職入学者を含む)(表8参照)

就職進学者・就職入学者を含む就
職者九千七百五十九人中、県内就職
者は男子三千九百七十六人(県内留
保率七十四・〇パーセント)、女子三
千四百四十二人(同七十八・五パ
ーセント)、計七千四百十八人(同七十
六・〇パーセント)で、前年度に比
して〇・七ポイント増加し、四十九
年度以降最高を示した。

就職者の県内留保率を学科別にみ
ると、農業科・水産科七十九・〇パ
ーセント、商業科七十八・四パーセ
ント、普通科七十八・一パーセント
などとなっている。